

めでいかすとる  
*Médicastre*



「ケムリの木」

鶴岡地区医療学術懇話会抄録

日 時：平成25年9月27日(金) 19:00～  
場 所：ベルナール鶴岡

## 『庄内の脳卒中治療と管理』

鶴岡市立荘内病院  
外科系診療部長

佐藤 和彦 先生

庄内地域の脳卒中治療と管理について連携を中心にお話しました。内容は①超急性期の前方連携、②慢性期の後方連携（地域連携パス）、③急性期治療、④慢性期治療、⑤北庄内との連携、⑥認知症と終末期医療についてです。脳卒中の治療について最大の出来事は、2005年にrt-PA（遺伝子組み替え組織型プラスミノゲン・アクチベーター）静注による血栓溶解療法が認可されたことです。この治療は有効性も高いが危険性も高く、発症からの時間が長すぎると無効だけでなく出血をおこし有害であると考えられています。現在は4.5時間まで延長されましたが、当初は発症後3時間以内に開始する必要があります。殆どの脳卒中は当院に搬入されるため「救急隊と連携」し、発症時刻を救急隊が現場で確認し救急センターに連絡、そこから「脳卒中チーム」に連絡してもらう方法をとりました。rt-PA治療を行なうには53項目もの評価が必要ですが、項目ごとに医師と看護師が「分担する連携」をとるようにしました。そのことで医師が2人の当時にも何とか時代に遅れない治療ができました。連携をしなければ「しなければならないことをすることができなかった」と思います。救急隊が始動する超急性期クリニカルパスですので空振りも多くありま

すが、それがスタッフの訓練にもなります。何よりも病院の都合で治療しない患者はいないことが大きな利点だと思います。後方連携の地域連携パスは登録しないとリハビリ転院が非常に遅れます。そのため全診療科で患者の登録が進み、地域での脳卒中発症数は毎年500人程度であることが分かりました。さらにADLの評価尺度を共有することで、退院後かかりつけ医に通院中の患者さんの予後が把握できるようになりました。80才以下の人は年に1回、病院で定期検査を行なうことで患者の安心と再発減少に繋がっていると実感しています。急性期は「Brain attack」という言葉が示すように救急搬送が基本です。特に軽くても突然の頭痛はクモ膜下出血の可能性がありとても危険ですのでぜひ搬送してください。超急性期は時間との勝負ですので診察せずに電話口で救急車を呼ぶように指導して頂ければと思います。慢性期には高血圧治療を徹底し不用意にアスピリンを投与しないで脳出血を予防して欲しいと思います。北庄内との関係では荘内病院が3次救急を担っていますが、残念ながら地域連携パスはできていません。認知症と終末期医療については今後の難しい課題ですが荘内病院が中核病院の責任を果たす必要があるのではないかと考えています。

日 時：平成25年9月19日(休) 9:00～  
場 所：小真木原総合体育館

## 准看護学院体育大会

今年の体育大会は、優勝2年A、準優勝1年B、3位2年B、4位1年Aチームという結果でした。1年生の若さには勝てない2年生は、1年半で築き上げた団結力で何とか優勝を勝ち取ることができました。学生49名ひとりひとりが最高に輝いていた1日となりました。

### 体育大会実行委員長 木村 宗一郎

チームメンバーの決め方、競技で出場する人を決める際、「多分、わかるだろう」などという先入観を持ち、中途半端な説明をしてしまったため1年生に何度もやり直してもらい迷惑をかけてしまいました。来年の体育大会では今回の反省を活かしてもらいたいと思います。競技では午前中2年生はとても頑張ったと思います。特に大縄です。大縄は2年生の底力を見せつけることができ良かったです。

### 体育委員(2年) 佐藤 カナハ

体育委員として準備から実施をして、実習をしながらの運営がとても大変だということがわかりました。また、1年生・2年生をまとめることも大変だと感じました。大変だと思ったことはありましたが、無事に終わり良かったし、みんなの前に立って動かしていく立場になり、1年生との交流も少しは深めることができたと思います。来年の体育大会は今年の実習を活かして、さらによい大会にしてもらいたいと思いました。去年の体育大会では最下位だったので

優勝できたことがとても嬉しかったです。バレーは全勝で、大縄では50回以上も飛んで、すでに筋肉痛です。これで、みんなでの行事もなくなってきて、実習ばかりで悲しいですが、頑張っていきたいと思いました。最後に、実行委員長の木村君には感謝しています。

### 体育委員(1年) 伊藤 美咲

私は体育委員として、この日をととても楽しみにしていました。前日のミーティングで2年生から一日の流れと各種目の説明を受け、細かいところまで話し合い、当日はとてもスムーズにできたと思います。1Aは午前中の障害物リレー、二人三脚百足リレー、借り物競争で見事にビリをとってしまい、モチベーションが下がりましたが、長縄で1Bに勝ち、リレーで1位になり、やっとみんなのテンションも上がってきたのかと思いました。個人的にはリレーにすごく力を入れていたので、バトンの受け渡しもどの位置で渡すも全てミーティングしました。午後からのバレーは自分が出たセットは全て勝って嬉しかったのと、バレー経験者なしで戦い、勝ったセットが一番うれしかったです。結果は後ろから1位でしたが、みんなで協力し、励まし合って勝ちに向かって汗をかけたことは、最高の思い出になりました。来年は実習もあり、大変だと思うけど、2年生が頑張ってくれたように私達もがんばりたいと思います！！



## エー(A)会員になりました

みどりまちクリニック  
今野 拓



鶴岡地区医師会の皆様、いつも大変御世話になっております。昨年10月にみどりまちクリニックを開院しました今野拓と申します。

生まれも育ちも鶴岡で、鶴岡南高校を卒業後津軽に進出。毎年の留年危機を神憑り的にくぐり抜け、平成3年無事に弘前大学を卒業しました。幼少時プラモデル造りが好きだったことを「手先が器用」と勘違いし、臨床実習でカテーテル治療を見ては「天職！」と思い込んだことから、循環器専門医を志して弘前大学第二内科に入局。その後、新潟大学第一内科への移籍を経て、青森・新潟・秋田の関連病院で修行後、平成14年に帰鶴。市立荘内病院で10年間お世話になった後、昨年開業させて頂きました。

荘内病院在職中は三科院長先生・小島研司先生・佐藤匡先生をはじめ諸先生・職員の皆様に本当にお世話になりました。この場をお借りして心から御礼申し上げます。

勤務医生活は休日の回診や緊急の呼び出しのため、家族サービスは二の次となり家内は「ウチは母子家庭だ」とボヤき続けておりました。



開業後は家族で過ごす時間が長くなると思っておりましたが、妻はテニスに明け暮れ、成長した娘達も父親にはかまってくれず…ならばと封印していたスキューバダイビングを20年ぶりに再開しました。堅苔沢沖の四島で再デビューを果たし、コブダイ・マダイの熱烈な(?) 歓迎を受け、久しぶりの浮遊感を満喫してきました。調子に乗って水中撮影機材まで購入しましたので、これからは天気と時間と財布の紐の許す限り、あまちゃんに負けずに潜りまくり(ウニは盗りません)皆様にお見せできるレベルの水中写真を撮れるよう頑張りたいと思います。

また陸のスポーツもやらねばと、今年からゴルフも始めてみました。止まっている球を打つのがどうしてこんなに難しいのか…鈍い音と共に足元を転がったり、あらぬ方向に飛んで行くばかりで、まともにコースを回れるようになるまでにはまだまだ練習が必要なようです。

開業医生活もうじき1年。スタッフに恵ま

れたこともあり、朝から晩までの（勤務医時代は苦手だった）外来診療も何とか慣れてきましたが、専門外の患者様の対応に悩み、諸先生方に御高診をお願いすることも多々ありました。ご多忙にも関わらず、快く御高診くださる先生方に本当に感謝しております。限られた検査で

緊急性を判断しなければならないことなど開業医の難しさも痛感する今日この頃ですが、スタッフと協力して、微力ながらも地域医療に貢献していければと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



## YBCラジオ「ドクターアドバイスで きょうも元気」ラジオ出演体験記

### 「YBCラジオ放送」

木根淵医院 木根淵 智子

7月31日に「ドクターアドバイスで きょうも元気」のために、ラジオの収録というものを初めて経験させていただきました。

ラジオ収録の準備は、ラジオ放送中に流す、楽曲を5曲選択することからはじまりました。普段音楽をほとんど聞かない私は、まずこれに悩みました。「自分のお気に入り、あるいは思い出の曲」を選ぶように、との事でした。

思い出の曲なんてたいそうなもの私にあるかしら？ などと考えつつ、なんとか5曲をひねり出し、ラジオ収録の日、午後2時から収録との事でしたので、山形市まで行き、はじめて「山形メディアタワー」に行きました。

ビルの中に入ると、ちょうど1階でラジオ放送を収録中でした。ガラス張りなので見学ができるのですが、後で確認すると見学はいつでも可能であるとの事でした。

そのまま中に入っていき、受付に声をかけると、「今から担当者が迎えに来るのでお待ちください」と。しばらく待っていると、ラジオ番組ディレクターの加藤研さんが1階まで迎えに来て下さり、カードキーを使用しエレベーターで上の階の収録場所へ向かいました。エレベーターの中で、「セキュリティはビルが新築されてからきびしくなり、エレベーターに乗るのもカードキーが必要となりました」と説明されました。なかなか大変だな、と思っていると、収録場所につきました。

収録場所で一通り簡単に機械の説明を受けると、今日の担当アナウンサー佐藤孝子さんにお会いしました。佐藤さんと収録中、まず感心したのが、アナウンサーの方は不慣れな私の話でも非常に上手に話をまとめていただけのことに感動しました。話のプロの技を見せていただきました。

ラジオの収録はもちろん緊張しましたが、放送はアナウンサーにうまく話を導いていただき、なんとか無事に終わる事ができ、とても良い経験をさせていただきました。

### 「ラジオ収録を終えて」

鶴岡協立病院 菅原 真樹

ラジオ出演の依頼を頂いた時に、最初は驚いたのと、専門医試験が近かったのもあり、大丈夫かなという思いがありました。しかし、なかなかこのような機会もないので、初めてのラジオ収録を楽しもうという気持ちで受けさせていただきました。

テーマについては、自分の専門分野である、「消化器病について（内視鏡治療から化学療法まで）」とさせていただきます。広い範囲であり、うまく話がまとまるかという思いもありましたが、腫瘍内科医として約半年間研修をしたこともあり、なかなか話を聞く機会がないであろう化学療法の話もさせていただきます。

午前中の検査を終え、ラジオ収録現場である山形メディアタワーへ向かいました。山形大学出身ということもあり、見慣れた山形市に入り、いよいよ収録となります。ディレクターの方とアナウンサーの方とお会いし、軽く打ち合わせをしてから本番です。打ち合わせは、予想していたものよりも、非常に簡単なもので、1回分の収録後に、数分で次回の打ち合わせをするというものでした。大まかな話の内容を考えていったので、なんとか話をすることができましたが、その場での対応では難しかったと思います。

そして、フリートークの後半部分では、両親への感謝、そして地元鶴岡への思いを伝えたいと思っていました。やはり、自分が大学に行けたのは両親のおかげであり、また、鶴岡に戻ってくる医師が少ないということに非常に残念な思いを持っています。自分のメッセージで、少しでも鶴岡に戻ってくる医師が増えればいいな、という思いで話をさせていただきました。

初めての収録で、若干の緊張はありましたが、自分の思いはある程度伝えることができたと思います。今回は、非常に貴重な経験をさせていただきました大変感謝しております。今後も地元鶴岡の医療の発展のために頑張っていきたいと思います。

## ビストロデポン2号店「バルデ」鶴岡に開店 わたしのお気に入り

三川にあるフレンチ料理店「ビストロデポン」をご存じでしょうか。開店は1997年3月ですので16年にはなるでしょうか。私はここの佐藤シェフが腕をふるう料理に見せられていました。親しい友との夕べやワイン会で利用させていただき、お弁当も気軽に作ってくれます。庄内の新鮮な食材や地元フランスから空輸した食材をふんだんに使った庄内のフレンチ屈指のお店です。

その鶴岡店『欧風酒場』「バルデ」が平成25年10月2日にオープンしました。場所は文園町で庄内交通バス停の向かいでくるまやラーメンとなりです。

シェフの佐藤さんは高校卒業後、東京で4店舗勤務の後1988年に渡仏、2つ星レストランを含む6店舗で修業をされました。ピエール・ガルニエや故ジャン・バルデといったそうそうたるボスのもとで研鑽を積み重ねています。

そしてフランス語を学ぶべく最初に入った学校がブルゴーニュ地方デジョン、最初のレストランもブルゴーニュでした。自転車でワイン畑をめぐり自然とワインにも深い知識と経験はまさに地元で培われたものです。うらやましい限りですね。2号店の名「バルデ」はフランスでの刺激的な体験を思い出し、初心に帰るべく師匠の名を付けたそうです。

店内に入ると左にワイングラスがさがったカウンター、小野リサのライブが奥の壁にプロジェクターで映されています。木の柔らかな茶系統の落ち着いた色あい、スタイリッシュで大人な雰囲気ですね。3〜4組のカップルがテーブルでワインと会話を楽しんでおりました。

料理はジビエ（ポーランド産鴨やエゾ鹿、山うずら）やムール貝、シェフ自慢のパテドカンパーニュ、白身魚のカルパッチョも自慢の皿です。どれも試してみたいものばかりで目移りをしてしまいます。ワインはボトル、グラスワインがありますが、これからラインナップを増やしていく予定とのこと。もちろんワインセラーが常備して中には素敵なワインたちが出番を静かに待っておりましたよ。お気軽にシェフに声をかけてください。

カウンターで飲んでいたら月曜休みのアルケのスタッフと一緒にになり途中から奥出シェフも乱入、大騒ぎになってしまいました。左から3人目が佐藤シェフ、その上が奥さまです。みんないい顔をしてるでしょ。

開店早々ですが、ワイン、料理ともこれから進化していくことを楽しみにしています。是非、友達を誘って気軽においでください。

欧風酒場「Bardet バルデ」文園町1-16

営業時間 17:30 - 24:00

電話 0235 64 8487

(中村内科胃腸科医院 中村 秀幸)



## 表 紙

## 「ケムリの木」

佐藤 元昭

今年の6月頃に新潟県にある温出出張診療所に行く途中で、初めて見た花です。

花の名前の本を丹念に調べ、スモークツリー（煙の木）であることが分かりました。開花のあとに花柄が細長く伸び、羽毛状の花序となり、煙の様に見える事から命名されたそうです。

## 編 集 後 記

10月に入り、中高生が衣替えをし、小児科に来る子ども達の病気も夏かぜから、鼻汁、咳などの秋のウイルス感染症に変わり、季節の変化を実感しております。朝晩は冷える日も増えましたが、会員の皆様は体調にお変わりないでしょうか。

先日、はたる多職種研修会で認知症の講演があり、参加させて頂きました。予想を超える多数の参加者のため、急遽大きい会場での開催になったそうです。様々な機能が低下してゆく高齢者そして今まで出来ていたことが少しずつ出来なくなっていく認知症について基礎からケア、支援について充実した内容の講演でした。高齢者や認知症の方が獲得していた機能を失っていく中でどのような気持ちでいるのか、推測することが大切という講師の先生のお話しが心に残りました。

さて今月号は当地区の脳卒中管理についての荘内病院脳外科佐藤和彦先生の講演抄録、みどりまちクリニック今野 拓先生のA会員になりました、木根淵智子先生、菅原真樹先生のYBCラジオ体験記など投稿ありがとうございました。特にラジオ出演を快諾して下さいました木根淵先生、菅原先生には改めて御礼申し上げます。また新企画の「わたしのお気に入り」は字数や写真数の自由な会員の先生のマイブームをご紹介頂くシリーズでございます。初めて投稿される先生も既にマイペットなどで投稿頂いた先生もお忙しい診療の中恐縮ですが、どうか原稿依頼をお引き受け下さいますようお願い申し上げます。

(今立 明宏)

編集委員：伊藤 茂彦・福原 晶子・石原 良・中村 秀幸・斎藤 高志・今立 明宏

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

URL <http://www.tsuruoka-med.jp>